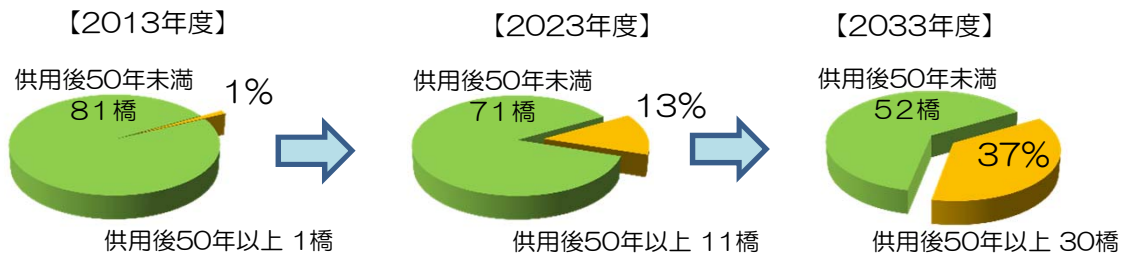


中富良野町の橋梁長寿命化修繕計画

1. 長寿命化修繕計画の目的

1) 背景

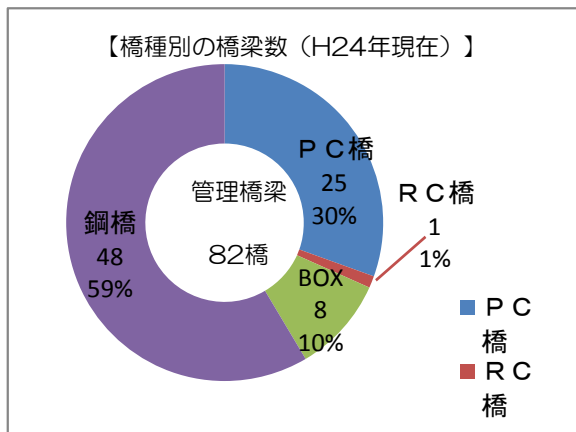
- 中富良野町が管理している道路橋は、現在、82橋あり、そのうち2013年で建設後50年経過する橋梁は1橋で全体の1%を占める。
- 20年後の2033年には、この割合が37%（30橋）となり、高齢化橋梁が急激に増加する。
- 今後、増大が予想される橋梁の修繕や架替えに必要な費用に対して、計画的な維持管理とコスト縮減への取り組みが必要である。



- このような背景から、今後、増大が予想される橋梁の修繕や架替えに必要な経費に対して、出来る限りのコスト縮減への取り組みが不可欠である。

2) 目的

- 道路交通の安全性を確保する上で、事後処理的な維持管理から、計画的かつ予防的な維持管理へと方向を転換し、橋梁の長寿命化によるコスト縮減を図る。



ヌッカクシワ号橋
昭和44年供用開始（44歳）

2. 長寿命化修繕計画の対象橋梁

	1級町道	2級町道	その他	合計
全管理橋梁数	21	21	40	82
うち計画の対象橋梁数	20	18	40	78
うちこれまでの計画策定橋梁数	0	0	0	0
うちH24年度計画策定橋梁数	20	18	40	78

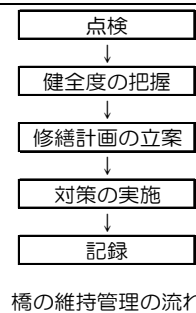
○長寿命化修繕計画の対象：

中富良野町が管理する町道にかかる橋の内、陸橋で補修対象としない4橋を除く78橋

3. 長寿命化修繕計画の基本的な方針

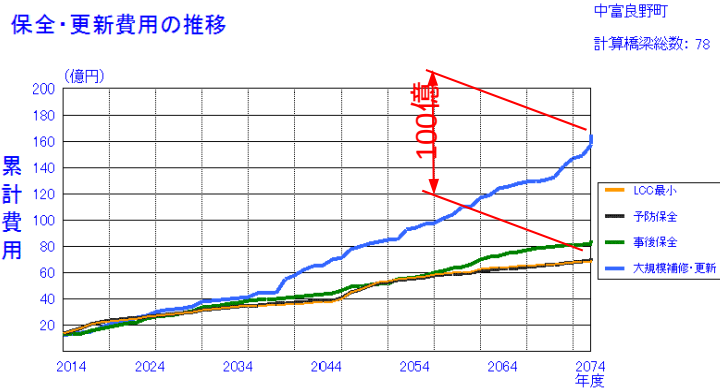
- 健全度の把握および日常的な維持管理に関する基本的な方針をもとに、計画的かつ予防的な維持管理などの実施を徹底することにより、修繕や架替えに必要となる事業費の巨大化や非効率化を回避し、ライフサイクルコスト（LCC）の縮減を図る。
- 既設橋梁の維持管理に当たっては、先の橋梁点検に加えて日常点検・定期点検・異常時点検を随時実施し、既設橋梁の健全度の維持・改善に努める。
- 排水柵の清掃などを定期的に行い、日常的な維持管理を実施する。
- 将来的な「まちづくり」や、社会状況にあわせて効率的で効果的な修繕計画となるように見直しを検討する。
- 修繕後の橋梁において、長寿命化による修繕の効果を点検時に確認して、今後の修繕計画に役立てる。

- 専門家による橋梁点検を実施し、橋の健全度を把握します。橋梁点検は、おおよそ5年ごとに行う予定です。
- それぞれの橋において、点検により把握した健全度に基づき、最適な修繕計画（低コストかつ長寿命化を図れる計画）を立案します。
- 対象橋梁において、長寿命化修繕計画を策定し、計画に基づいて順次、修繕を実施します。
- 点検および修繕した結果は、橋梁台帳および点検調書に記入し電子データとして保存します。



4. 長寿命化修繕計画による効果

- 今後60年の修繕・架替事業費を試算した結果、従来型の事後的な大規模補修・更新の場合は事業費約170億円となるが、本計画を実施することで、予防かつ計画的な修繕計画が可能となり、事業費約70億円程度となる。よって、約▲100億円のコスト縮減効果が期待できる。



5. 計画策定担当部署および意見聴取した学識経験者等の専門知識を有する者

- 1) 計画策定担当部署
中富良野町 産業建設課
- 2) 意見を聴取した学識経験者等の専門知識を有する者
北海学園大学 工学部 杉本 博之 教授

tel 0167-44-2123